



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.79
2017年 2月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

乾季が本格化

皆さんこんにちは。2月に入りカンボジアではようやく乾季らしい気候になってきましたが、明け方の気温が16度前後と肌寒い日が続いています。季節の変わり目のためか風邪をひくスタッフも多いので体調管理に気をつけながら今月の報告を行いたいと思います。



灌水の様子。塩ビ管空けた小さな穴から水が出る。

◇レモングラス灌水開始

例年より雨が続けてくれたため先月はレモングラスに水を撒かなくても済みましたが、乾季が本格化してきたため灌水を開始しました。塩ビ管製の灌水設備をレモングラスの畝間に設置して灌水を行うのですが、古いものでは5年近く使用しているため、実際に設置して灌水を始めると塩ビ管が劣化して割れてしまったり、つなぎ目が外れてしまったりとトラブルが多発し、補修を繰り返しました。また、エンジンポンプも月200時間ほど稼働するため、毎月何かしらトラブルが発生します。改めて日々の点検や整備の重要性を実感する毎日ですが、手間がかかるだけレモングラスが成長してくれればと思います。

◇大型のアロマキャンドル作成

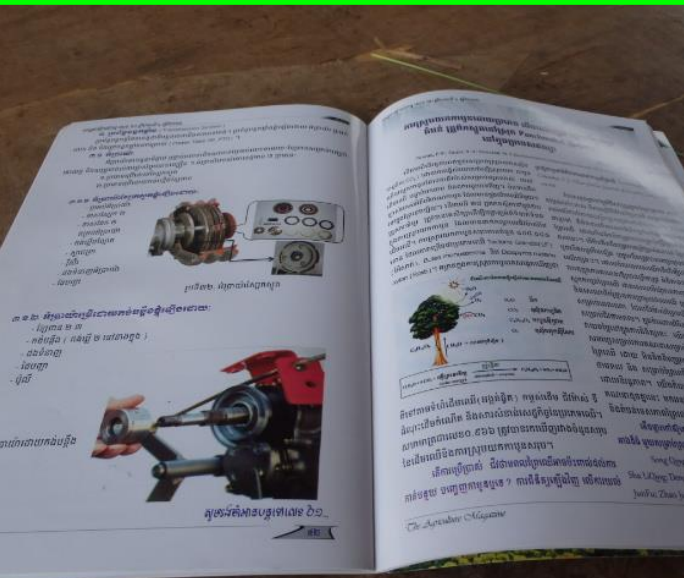
2月に農場を訪れたお客様のご要望で、大型のアロマキャンドルを作成しました。通常作成しているのは直径4cm高さ1cmほどですが、今回作成したのは直径5cm、高さ8cmですので10倍以上の大きさです。まず溶かしたろうを固めるための型枠を作成。ちょうど良いサイズの空き缶があったため、きれいに洗浄した後、飲み口側を切り取り底に芯になる風糸を通す穴をあけました。完成した型枠に風糸を通して固定したあと、ろうとレモングラスの精油を混ぜた物を注ぎ、しばらくおいて蠟が固まるのを待ちます。型から外す際、まだ中が固まりきっておらず崩れたり、芯だけ抜けてしまう等のトラブルが発生しましたが、何とか形になりました。皆様のご要望あればまた作成いたします。



作成した大型のアロマキャンドル



報告会で配布された資料



機械の構造や植林の重要性などが書かれていた。



食事中的子猫

◇農水省の年次報告会に参加

SAJFarmはカンボジアで活動するために農林水産省とMOUを交わしていますが、その担当の方から農林水産省が開催するカンボジア農業の現状についての報告会の招待状が届きました。なかなか政府の開催するイベントに参加する機会はないので参加することに決めましたが、専門用語など聞き取れないと困るので通訳兼ドライバーとしてスタッフのチャンダー君に同行してもらいました。報告会はまず農林水産省の部長より開会の挨拶があり、その後農林水産大臣からカンボジア農業の現状について報告がありました。私がカンボジアに来たのは2012年ですがその当時と比べると農耕牛は8%減少しその代り耕運機が導入されカンボジアの農業も機械化が進みつつあるようです。また、毎年国内全体でのお米の生産高は増えており米余り気味の様ですが、反面食肉は不足していて輸入に頼っているのが現状の様です。政府も農林水産業はカンボジアの基幹産業であると認識はあり、現状を改善したいようですが輸出入に手間がかかり周辺国と対等に戦えないと農林水産大臣でさえ漏らしていました。そのあと、参加者と政府の意見交換の場では、参加者から政府の農業振興に対する疑問点など積極的に意見が述べられ、皆さん問題意識を持っているようです。参加者の一人と話した際、日本人が助けてくれるのに何故、国は自国民を助けてくれないのかと愚痴を漏らしていたのが非常に印象的でした。

◇新スタッフ誕生

先月、農場で飼っている猫のとらよが妊娠したと報告しましたが、今月末無事に子猫を出産しました。お腹が大きかったのと、去年は3匹生まれたので今年もたくさん生まれてくるのかと思いきや、1匹のみの出産です。昨年生まれた子猫は兄弟間でお乳の奪い合いが起き、大きくなれずに死んでしまった子猫が出てしまいましたが、今年はお母さんを独り占めできるので大きく、遅く育ってくれるのではと思います。反面わがままに育たないか若干心配ですが、母猫と一緒に農産物をネズミから守る新たな戦力となってくれればと思います。